



estelon

X Diamond Mk II
XB Diamond Mk II



音楽が奏でられる、その場にいるかのようなイマーシヴな体験。
私のスピーカーは、そのために存在する。



エステロンのスピーカーを前にする時、私たちは流れるような曲線を描くキャビネットのフォルムに魅せられます。そして、奏でられる音楽の生命感と瑞々しさ、際立つ輪郭と奥深い音場に驚き、言葉を失います。

かつてない音楽体験を生むその流麗なデザインは、音楽の姿を正確に美しく描き出すための緻密な理論と哲学、そして音楽への愛情の結実。

それは、いかなる思考とプロセスを経て造型されているのでしょうか。

創業者でデザイナーのアルフレッド・ワシルコフが、自らの言葉で語ります。

音楽と感動だけがそこにある その理想へ向けて

“スピーカー設計における私の理想は、音楽が演奏される、まさにその場にいるかのような感覚を再現すること。重要なのはスピーカーではなく、あくまで音楽の存在感です。私は技術的な成果より音楽性を大切にしています”

“そのためには、キャビネットから素材、回路設計に至るまで、すべてがシンプルで合理的でなければなりません。すべての要素が音楽信号に影響するので、あらゆる複雑性を極力排除する必要があります”



音楽の国エストニアで育まれた より良き音への情熱

“ 技術はもちろん重要です。ただ、それはあくまで音楽に奉仕するものでしかないのです ”

音楽に対するワシルコフの情熱は、ごく幼い頃から育まれました。

“ 父親がアコーディオンを嗜んでいたこともあって、家庭にはいつも音楽がありました。また、子供の頃はラジオが大好きで、どうすれば音質を改善できるかといった問題に興味を持っていました ”

ワシルコフの祖国エストニアは、数年に一度、大勢の人々が広場に集う大規模な合唱祭が開催されるほど音楽との結びつきが強い国。エステロンのスピーカー設計には、そうした国民性と、上質な音を希求するワシルコフの探究心が底流しているのです。

“ 長じて、私は電気音響学などを学び、その後様々なメーカーのスピーカー設計や空間音響設計にも携わるようになりました。そうした経験を通じて、キャビネットが果たす役割やドライバー・ユニットの組み込み方が再生音に大きく影響することを実感し、自分なりの答えを模索するようになったのです ”

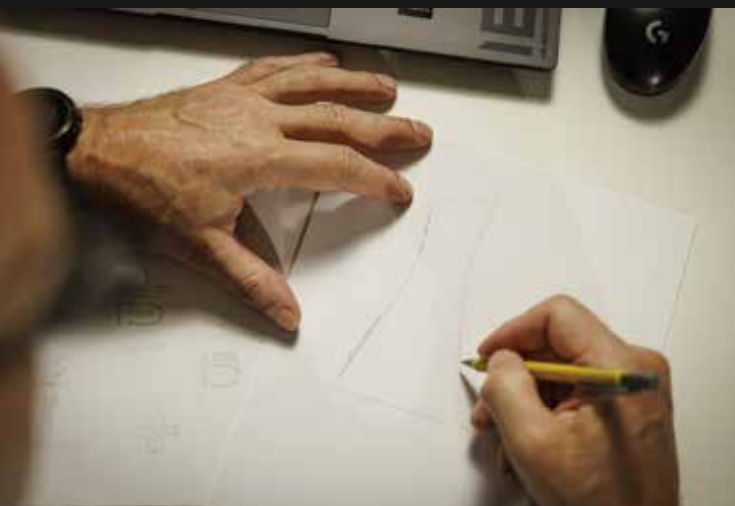
キャビネット構造の最適化と 適確なドライバー配置を追求

“2010年にエステロンを創立して以降、今日まで、全モデルに共通している基本的なポリシーが二つあります。一つは、音波回折を低減し、音波放射を最適化するために、キャビネットを曲面で構成すること。もう一つは、位相を管理し、高精度なタイム・アラインメントを実現するために、各ドライバー・ユニットを適確に配置すること ”

“ キャビネットをなめらかな曲面にすれば、音波回折を排除できるのみならず、より開放的で立体的な音場を創成できます。また、中域ユニットをキャビネット上部に設置すれば、初期の床反射が低減でき、ディティール感豊かな中域再生が可能になります ”

“ たとえば Forza や X Diamond Mk II、XB Diamond Mk II では、ツイーターをリスナーの耳の高さに近づけるため、中域ユニットの下にツイーターを配置。ウーファーは、床に最も近い最下部に設置することで、キャビネットのボリュームを最大限に活かす一方、リスニングルームの特性にも合わせやすくなっています ”

“ キャビネット構造全体を最適化し、ユニットを音響的に自然な配置とすれば、クロスオーバー回路設計もシンプルにまとめることができ、純度高い再現につなげられるのです ”



ドライバー・ユニットのポテンシャルを余さず抽出すべく、 キャビネットは極限までリジッドに構造化する。

徹底的に“静かな”キャビネットとする そのためのイノベーション

曲面で構成され、いっさい平行面のないキャビネットは、大理石をベースとする独自の素材で一体成型されており、内部定在波の排除や振動・共振要素の低減など、音響設計上きわめて重要な役割を持っています。



“素材の開発や選定は大切なプロセス。私たちはそれぞれの固有の挙動に合わせてテストと厳選を繰り返し、用途ごとに最適な素材を採用しています”

“Forza や X Diamond Mk II、XB Diamond Mk II などの大型モデルでは、大理石パウダーをもとに、熱成型とミネラル充填を経た特殊な複合素材を開発し、自在な曲面の成型を可能にするとともに、高い強度と理想的な内部ダンピング特性を獲得することができました”

“キャビネット内部にも多様なダンピング材を配置するなどにより、振動・共振や内部定在波の発生を抑制しています。素材、構造、ジオメトリー、重量の連係を追求し、一つのシステムとして一体的に設計することによってこそ、各ドライバーがフルに躍動できる、リジッドで＜静かな＞キャビネットを創造できるのです”

スピーカー設計は、絶えざる 学習と研究のプロセスそのもの

“各モデルの設計は白紙の状態が始めますが、当然、それまで得られた知見、経験は活かされます。スピーカーの創造は、絶えざる学習と研究のプロセスそのものと言えるかもしれません”

“私はまず音響上の目標を設定し、次いでその達成に必要な形状やドライバーの選定、技術的なソリューションについて考えます。そして、シミュレーションやプロトタイプ製作、入念な試聴セッションに進み、音響の全側面を徹底検証します”

“テスト、調整、改善のサイクルを何度も繰り返し、心の底から納得できる段階に達して初めて、最終的な製作の段階へと進むことができます”

“構造の設計、ドライバーの選定や配置と同じく、美しい仕上げも私たちのスピーカーの重要な要素です。私たちは、数多くのカラーサンプルを試し、様々な照明条件のもとでテストして、フォルムや周囲環境との相互作用を入念に検証して、各モデルの個性に最もマッチしたカラーを決定します。それはきわめてクリエイティブなプロセスで、私たちの大いなる楽しみでもあります”

音楽と感動だけがそこにある その理想へ向けて

“最終的にシステムが完成すると、測定、シミュレーション、そして入念な試聴が行なわれます。ただ、最終的な判断基準となるのは、あくまで私たちの＜耳＞です”

“様々な測定は、部品や素材の挙動を知り、開発の指針とする上では必要なものですが、人が音楽をどのように知覚するのかまでは教えてくれません。私たちは、時間をかけて多様な音楽を聴いては調整を繰り返し、結果を比較しながら、すべてにおいてバランスのとれた、ナチュラルな再現性が得られるまで、聴感を頼りに最終的な音決めを行ないます”

“かくして、＜スピーカーではなく音楽だけがそこにある＞という私たちの目標が達成されるのです”



エステロンの未来

“私たちは今後も、核となる設計哲学を大事にしながら、スピーカーづくりにおけるすべての要素を継続的に改善し、洗練させていきます。音楽を愛する世界中の人々にエステロンの音を届け、音楽の奥深さと存在感を実感していただきたいからです”

“イノベーションこそは私たちの DNA。エステロンは、絶えず限界を押し広げ、デザイン、テクノロジー双方において革新的な成果をあげ続けます。そのために、素材や音響パフォーマンス、そして新たなフォルムを模索し、創造的なものづくりを磨き上げていきます”

“目指すところはただ一つ。私たちのスピーカーによって、音楽が生まれるその場に立ち会っているかのような迫真の音楽体験をお届けすることなのです”



X Diamond Mk II

エステロンのフラッグシップ・ライン Forza の設計思想を受け継ぎ、パワフルにして繊細な、忘れえぬリスニング体験を満喫していただけるラグジュアリー・システムです。





XB Diamond Mk II

X Diamond Mk IIと同様のコンセプトをふまえ、キャビネット、ドライバー・ユニット口径、いずれもわずかにサイズダウンしたシステム。サイズを超えた豊饒な音場が魅力です。





X Diamond Mk II

エステロン史上屈指の純度高い音楽再生を実現



新規カスタム・メイドのドライバー群

X Diamond Mk II、XB Diamond Mk II は、フラッグシップ・ライン Forza と同一の 25mm 口径ダイヤモンド逆ドーム・ツイーターを搭載。その鮮烈なパフォーマンスを支えるセラミック・メンブレン仕様の強靱な中域、低域ドライバー・ユニットまで、すべてをドイツ アキュトンによるカスタム・デザインの 3ウェイ3スピーカー構成としています。

さわめて高い硬度で知られるダイヤモンドの剛性と軽量性、そして適度な内部損失特性は、ツイーター素材としてはまさに理想的。エステロンは、試聴とチューニングを幾度も繰り返すことにより、60kHz に至る超高域まで歪みなく澄明な再現性を実現、まさにダイヤモンドの如く輝かしい高域再現を現実のものとしています。

精度高くナチュラルな音楽再現にとって重要な役割を担う中域は、ダイナミックにしてニュアンスに富む表現性を追求し、インパルス特性を確保しつつ、全高調波歪率、相互変調歪みを極小に抑える観点から、ダイアフラムにアルミナ・ハードセラミックを採用。強度が高く、しかも軽量で適度な内部損失を持つことから、あらゆる音楽を、さわめて明瞭な輪郭と深い臨場感とともに描ききることができます。

また、高域と中域のドライバー・ユニットはそれぞれ独立チェンバーに組み込まれ、相互干渉のない高精度なステレオ音像の醸成を期しています。



エステロンがアキュトンの連係のもとで開発したドライバー・ユニットが、高純度なパフォーマンスを支えます。

XB Diamond Mk II

広大な音場とともに音楽の姿をくっきりと描出

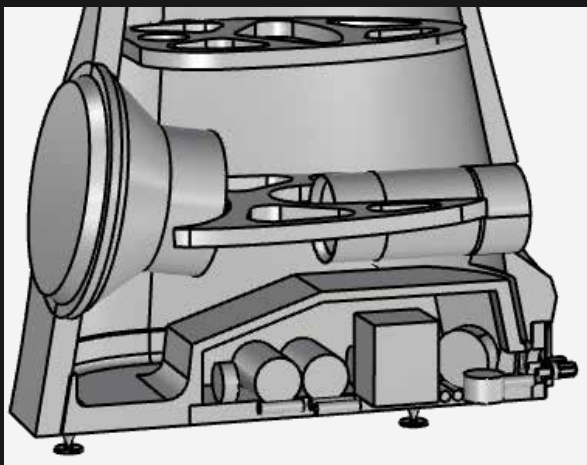
低域は、中域と同様ハードセラミックを採用しながらサンドウィッチ構造として強靱性をさらに高めた設計となっており、強大な専用チェンバーをそなえたリア・パスレフ方式をふまえて、重厚かつ高精度な低域再生を実現、心を震わせる迫真のパフォーマンスを発揮します。

シンプル設計に徹したクロスオーバー回路

クロスオーバー・ネットワークは、ムンドルフ社とジャンセン社のキャパシター、ゲルツ社とムンドルフ社のインダクター、クバラ・ソスナ社の内部配線材など、オーディオ専用のハイエンド・パーツを厳選、すべてハンド・ソルダーリングにて精密に組み上げられています。

回路は、キャビネット最下部の専用チェンバーに設置。ドライバー・ユニットの振動や共振等に影響されることがなく、純度高い信号伝送を行なうのみならず、広大な音場を創成することができます。

ドライバー個々の性能を精度高く抽出するという使命をシンプルに追求したクロスオーバー設計です。



精密に構造化されたリジッドなキャビネット内部では、ドライバー・ユニット用のチェンバーと、クロスオーバー専用のスペースを明確に分離。信号純度を守っています。



Specifications

	X Diamond Mk II	XB Diamond Mk II
●形式	3 ウェイ 3 スピーカー フロア・スタンディング型 リア・パスレフ方式	ウェイ 3 スピーカー フロア・スタンディング型 リア・パスレフ方式
●使用ドライバーユニット		
高域	25mm 口径ダイヤモンド逆ドーム	25mm 口径ダイヤモンド逆ドーム
中域	173mm 口径セラミック・メンブレン 逆ドーム	158mm 口径セラミック・メンブレン 逆ドーム
低域	280mm 口径サンドウィッチ構造 セラミック・メンブレン逆ドーム	220mm 口径サンドウィッチ構造 セラミック・メンブレン逆ドーム
●周波数特性	23Hz ~ 60kHz	22Hz ~ 60kHz
●クロスオーバー周波数	77Hz、2kHz	85Hz、2.1kHz
●出力音圧レベル	87dB/2.83V	87dB/2.83V
●インピーダンス	6 Ω	6 Ω
●スピーカー端子	シングル・ワイヤリング	シングル・ワイヤリング
●寸法	幅 450×高さ 1,370×奥行 640mm	幅 420×高さ 1,260×奥行 590mm
●重量	86kg/ 本	69kg/ 本

Finishings



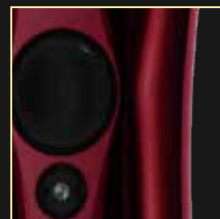
Black Lava
Liquid Gloss



Silver Pure Alu
Liquid Gloss



Silver Pure Alu
Matte



Red Rocket
Liquid Gloss



Blue Cobalt
Liquid Gloss



Violet Night
Liquid Gloss



White Gloss



White Matte